

山田昌和教授、日本角膜学会理事長に就任

杏林アイセンター 平形明人

杏林アイセンター教授山田昌和氏が、本年3月から2年間の任期で、日本角膜学会理事長に選出されました。本学会は角膜あるいは眼表面に関する基礎および臨床研究の推進を計る学会で約40年の歴史を有します。ドライアイやアレルギー、眼感染症、角膜形状異常、コンタクトレンズ、角膜移植など多岐にわたる課題を扱いますが、最近ではiPS細胞からの角膜上皮シート移植や角膜内皮移植など再生医療の最先端治療も扱っています。また症例登録によるビッグデータを用いたレジストリー研究なども計画していて、眼科研究分野でも最先端の試みを実施している学会です。

杏林アイセンターは眼科の多くの専門分野のリーダーを集め、バランスのとれた日常診療や専門医教育を心がけていますが、角膜学会理事長就任はアイセンターの歴史にとっても素晴らしい栄誉であり、皆様にご報告致します。また、2023年の日本角膜学会総会会長も山田教授が担当することとなり、教室員一同で主催を楽しみにしております。

